

26福スポ少第20号  
平成26年4月17日

各市町村スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人福島県体育協会  
福島県スポーツ少年団  
本部長 星 本文



平成26年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール  
の開催について (通知)

このことについて、別紙開催要項に基づき実施いたします。

つきましては、下記のとおり参加者をご推薦くださるようお願いいたします。

なお、福島県の推薦枠は4名となります。推薦者数が定員を超えた場合は、前年度の高  
校生以上の登録団員数が上位の市町村から順に、定員になるまで1名ずつ推薦者を決定し  
ていきますので、推薦順位には特にご留意くださるようお願いいたします。

記

1 申込期限 平成26年5月30日(金)

2 提出書類 様式1、2、3  
※ 様式2、3は参加希望者自身が記入すること。

3 申込先 福島県スポーツ少年団

4 経 費

- (1) 参加料16,200円は、県本部が負担します。
- (2) 宿泊費・教材費は、日本スポーツ少年団が負担します。
- (3) 交通費は、日本スポーツ少年団が旅費規程に基づき補助します。

5 その他

- (1) 講師・運営補助者の推薦がありましたら関係書類を送付しますので、連絡願います。
- (2) 推薦に際しては、参加条件を満たしていることに加えて、リーダーとしての資質・  
教養、さらには、研修後の福島県スポーツ少年団リーダー会活動への協力等も含めて  
十分考慮の上、推薦願います。

事務担当 公益財団法人福島県体育協会スポーツ少年団係

TEL024(524)3833 FAX024(521)7971

東日本大震災復興支援 「とどけよう スポーツの力を東北へ！」  
平成 26 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項

1. 主 催 公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
2. 後 援 文部科学省 (予定)
3. 期 日 平成 26 年 8 月 7 日(木)～11 日(月) (4 泊 5 日)
4. 会 場 国立中央青少年交流の家  
静岡県御殿場市中畑 2092-5  
\*会場への課題・荷物の送付および電話連絡は一切禁止する
5. 参加条件  
スポーツ少年団登録団員で下記 (1) ～ (4) の参加条件すべてに該当し、かつ各都道府県スポーツ少年団本部長の推薦する者
  - (1) 平成 26 年度団員登録を行い、義務教育を修了した 20 歳未満の者(平成 26 年 4 月 1 日現在)
  - (2) ジュニア・リーダー認定資格を有する者又はリーダー制度に定める活動単位により参加資格を認められた者
  - (3) 全プログラムに参加できる健康状態および体力・運動能力を有する者  
(体力的には少なくとも運動適性テスト 3 級程度の能力を有する者が望ましい)
  - (4) 集団生活における規律を守ることができる者
6. 参加者 140 名  
各都道府県スポーツ少年団の参加枠は別紙一覧による。なお、全国で 140 名に満たない場合、各都道府県スポーツ少年団は割当人数を超えて参加者を推薦することができる。
7. 研修内容  
日本スポーツ少年団リーダー制度に定められた養成内容に基づき研修を実施する。
  - (1) 講義
  - (2) グループディスカッション
  - (3) 実習
  - (4) 自主プログラムによる研修
  - (5) 通信研修
  - (6) その他
8. 経 費
  - (1) 参加料：1 名 16,200 円(税込)
  - (2) 交通費については本会が定める旅費規程に基づき補助をする。  
なお、支給方法は所属都道府県スポーツ少年団の指定銀行への口座振込とする。
  - (3) 合宿研修に伴う宿泊費(食事代を含む)および研修に必要な教材は、日本スポーツ少年団が負担又は用意する。

## 9. 参加申し込み

都道府県スポーツ少年団は参加者を取りまとめ、別紙申込書<様式 1>に個人申込書<様式 2>および事前課題レポート<様式 3>を添えて下記により申し込むこと。

- (1) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内  
公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
- (2) 申込期限 平成26年6月6日(金) 当日消印有効
- (3) 参加料

日本スポーツ少年団からの参加者決定通知受理後、16,200円(税込)×人数分を都道府県スポーツ少年団が取りまとめの上、一括して下記口座へ納入すること。

振込先	みずほ銀行 渋谷支店
	普通預金 No.3427831
	口座名:公益財団法人日本体育協会

## 10. 評価・認定について

全課程修了者は日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、シニア・リーダーとして認定を行う。なお修了の評価は、スクーリング期間中の活動と通信研修のそれぞれを対象に、日本スポーツ少年団リーダー養成ワーキンググループにおいて行い、日本スポーツ少年団指導育成部会にて認定の可否を判断する。

### 11. 傷害保険

スクーリング期間中は、日本体育協会が参加者全員を被保険者として傷害保険に加入する。

### 12. その他

- (1) スクーリング会場での前泊申し込みについては、都道府県スポーツ少年団で取りまとめ、一括して日本スポーツ少年団に申し込むこと。
- (2) 参加者は、受付時間内に受付を済ませること。また、最終日は閉校式終了後、12時30分過ぎの解散となる。  
解散前に会場を離れなければならない電車・飛行機等を手配しないこと。
- (3) 研修期間中、参加者は全活動に参加し、早退ほか自由行動は一切認められない。
- (4) スクーリング日程等詳細については、追って日本スポーツ少年団より参加者に連絡する。
- (5) スクーリング期間中、参加者の事情(体調不良等)によりプログラムに参加できなくなった場合、医師の判断等に基づき、主任講師、事務局で協議を行い、参加者を帰宅させることがある。その場合、評価・認定に関しては上記記載の要項10に基づく。また、参加費の返金は行わない。



平成26年度シニア・リーダースクール 年間の流れ

【日程】	【行事】	【参加者提出物】	
平成26年	4月上旬	シニア・リーダースクール開催通知	
	6月6日(金)	参加者推薦締切	参加申込書<様式2> 事前課題レポート<様式3>
	6月下旬	参加者決定通知 (事前課題指導案作成要項提示)	
	7月	事前課題指導案提出 *締切:7月15日(火)必着	事前課題指導案<様式4>
	8月7日(木) ~11日(月)	スクーリング 静岡県御殿場市・国立中央青少年交流の家	
	9月	第1回通信研修課題(指導案)提出 *締切:9月上旬	第1回通信研修課題(指導案)<様式5>
	10月	第2回通信研修課題(レポート)提出 *締切:10月上旬	第2回通信研修課題(レポート)<様式6>
	11月		
平成27年	12月	第1回成績判定会議 → フォローアップ研修 (該当者のみ)	
	1月	↓	フォローアップ研修課題 (対象者のみ)
	2月	認定承認 ← 第2回成績判定会議	
	3月下旬	↓	シニア・リーダー認定通知

<様式1>参加申込書(推薦書)

:日本スポーツ少年団から都道府県スポーツ少年団に4月上旬に送付  
6月6日(金)までに都道府県スポーツ少年団から日本スポーツ少年団に提出

<様式2>参加申込書(個人提出用)

:日本スポーツ少年団から都道府県スポーツ少年団に4月上旬に送付  
6月6日(金)までに都道府県スポーツ少年団が取りまとめ日本スポーツ少年団に提出

<様式3>事前課題レポート

:日本スポーツ少年団から都道府県スポーツ少年団に4月上旬に送付  
6月6日(金)までに都道府県スポーツ少年団が取りまとめ日本スポーツ少年団に提出

<様式4>事前課題指導案

:日本スポーツ少年団から参加者に6月下旬に参加者決定通知と併せて送付  
7月15日(火)までに参加者が日本スポーツ少年団と都道府県スポーツ少年団に提出

<様式5>通信研修指導案

:9月上旬までに参加者が日本スポーツ少年団と都道府県スポーツ少年団に提出

<様式6>通信研修課題レポート

:10月上旬までに参加者が日本スポーツ少年団と都道府県スポーツ少年団に提出

平成 26 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール  
事前課題レポート作成要項

シニア・リーダースクールでは、参加者に現在のスポーツ少年団活動に対して問題意識を持って参加して欲しいことから、事前課題レポートを課しています。

事前課題レポートでは、あなたのスポーツ少年団活動の現状分析、問題点の明確化、スクーリング後の活動計画などを通じてスクーリングへ向けた事前準備をしていただきます。

下記の内容により、レポートを作成し、参加申込書と共に提出してください。

なお、参加申込書と事前課題レポートの両方が揃っていない場合、申し込みできませんので、ご注意ください。

事前課題レポートテーマ

【課題①】今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明してください。また、そのリーダー活動を続ける上で抱えている問題について述べなさい。

【課題②】シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、スクーリングに参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

\*作成にあたっては別紙「シニア・リーダースクール概要」を参照すること。

<作成上の注意事項>

- ・指定された様式を使用してください。(コピー可)
- ・申込者の自筆にてボールペン等を使用して作成してください(鉛筆、シャープペンシル、消せるボールペン等消しゴムで消えるものは不可)。
- ・以下の条件を満たしていない場合は再提出もしくは参加を認めないことがありますので、指導者と相談の上、しっかり取り組んでください。
  - ①課題に沿った内容で記述すること。
  - ②記述欄すべての行を埋めること。

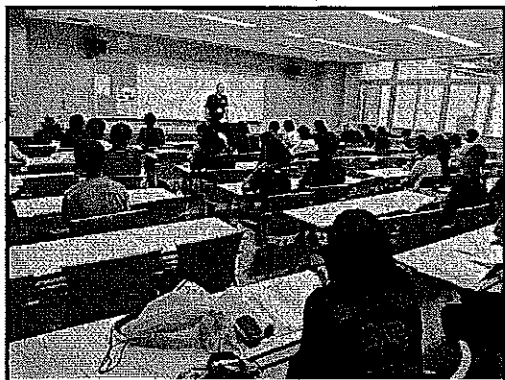
<提出方法>

提出方法および期限については、所属する都道府県スポーツ少年団の指示に従ってください。

<その他>

- ・事前課題指導案作成については、参加決定通知時にお知らせします。

【グループ活動】 班別活動、係別活動、テーマディスカッション、早朝活動、集団宿泊生活



※班ごとに分かれ、スポーツ活動プログラムの企画やディスカッションを行います。

【スポーツ指導実践】 小学生の団員を対象としたスポーツ活動の企画運営評価



※会場近隣の小学生団員を対象とし、リーダー達が考えたスポーツ活動プログラムを実施します。安全管理や効果的な指導方法を意識しながらスポーツ指導を行うことで、リーダーとして求められる力を養います。

### 3. 通信研修および期間について

スクーリング終了後、11月までを通信研修期間とし、スクーリングでの班の課題や自分の課題を実際の団活動を通して解決していきます。

### 4. シニア・リーダーの認定について

スクーリングおよび通信研修が修了したリーダーは、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、平成27年3月に認定証と認定品を交付します。

(平成25年度までのシニア・リーダー認定者数は、8,451名)

## 日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール 概要

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団リーダーを組織的に整備し、リーダーとしての役割の理解や資質の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者を育成するために「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定め、単位団指導者や都道府県・市区町村スポーツ少年団と連携してジュニア・リーダー、シニア・リーダーを養成しています。

### 1. シニア・リーダースクールの目的

シニア・リーダースクールは、日本スポーツ少年団が、シニア・リーダーの資格を認定するために開設しているもので、中学校を卒業した15歳から20歳未満のスポーツ少年団員（リーダー）を対象に、全国からの参加者が一堂に会して4泊5日のスクーリング（宿泊研修）を行うものです。このスクーリングとその後に課せられる通信研修の評価をあわせて、シニア・リーダーの資質に到達しているかを判定し、合格したリーダーに対して、シニア・リーダー資格の認定を行っています。

そのため、シニア・リーダースクールは、「スポーツ少年団の単位団やリーダー会の活動において模範となって活動できる知識や技能を習得させる」という使命があります。その使命を達成するために、次のような2つの目的を掲げています。

#### 1) シニア・リーダーとしての個々の資質と技能を向上させる

スポーツ少年団のシニア・リーダーとして求められる最低限の知識と技能を習得させる

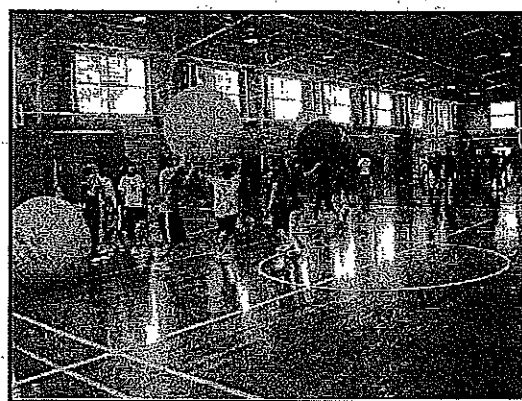
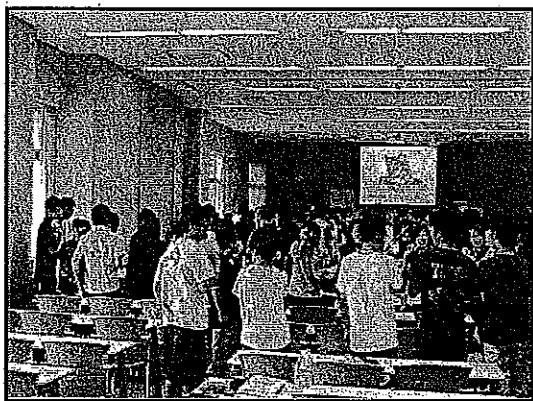
#### 2) 指導者に向けた継続活動を視野にいれ、自らのリーダー活動を振り返り、今後のリーダー活動への改善点を明らかにする

参加者の個別課題に対応し、班活動やグループワークを通じた気づきを重視する

### 2. スクーリングの内容

スクーリングでは、上記の2つの目的を達成するため、学習活動、グループ活動、スポーツ指導実践などを通じて、参加したリーダー一人ひとりの知識や技能を高めることができるようにプログラムを設定しています。

【学習活動】 全体講義(理念と歴史、組織と役割、活動計画、安全管理、発育発達、国際交流)、実習



※講義ではスポーツ指導に必要な知識を学び、実習ではリーダー自身も体を動かしてスポーツを行います。



## 日本スポーツ少年団リーダー制度

スポーツ少年団における青少年リーダーを組織的に整備することとあわせ、団における位置づけを明らかにし、日常の活動を通じ個々の資質と技能の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者に育成することを目的に「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定める。

### 1. スポーツ少年団リーダーの規定

日本スポーツ少年団にジュニア・リーダーとシニア・リーダーをおく。ジュニア・リーダーは、単位団において団員の模範となって活動する団員をいう。シニア・リーダーは、単位団およびリーダー会において模範となって活動する団員をいう。

### 2. スポーツ少年団リーダーの養成

日本スポーツ少年団では、リーダーの資質の向上をはかるため次のリーダースクールを設け、資格の認定を行う。

#### (1) ジュニア・リーダースクール

日本スポーツ少年団と都道府県スポーツ少年団が共催で開設する。

対象：次のいずれの条件も満たす者とする。

- ①日本スポーツ少年団登録団員で、小学校5年生以上中学生までの者。
- ②所属市区町村スポーツ少年団本部長の推薦を受けた者。

内容：次の内容を含む20時間以上のコースを設定する。

- ①スポーツ少年団とは
- ②スポーツ少年団のリーダーとは
- ③活動プログラムの実践（スポーツ活動、交歓交流活動、集団生活・集団行動等）
- ④話し合い

#### (2) シニア・リーダースクール

日本スポーツ少年団が開設する。

対象：次のいずれの条件も満たす者とする。

- ①日本スポーツ少年団登録団員で義務教育を終了した20歳未満の者。
- ②「ジュニア・リーダー」の認定資格を有する者又はスポーツ少年団活動により、別に定める活動単位を取得し、シニア・リーダースクールの参加資格を認められた者。

内容：次の内容を含む40時間以上のコースを設定する。

- ①スポーツ少年団とは（意義と原則／組織と活動）
- ②リーダーとは
- ③少年期の発育発達
- ④スポーツの指導
- ⑤安全管理
- ⑥体力テスト
- ⑦グループワーク
- ⑧スポーツ少年団員のための運動プログラム
- ⑨交歓交流活動の実践
- ⑩研究協議

### 3. スポーツ少年団リーダーの資格認定

#### (1) ジュニア・リーダー

ジュニア・リーダースクールを修了した団員に対しては、都道府県スポーツ少年団が日本スポーツ少年団の名において「日本スポーツ少年団ジュニア・リーダー」として認定し、認定証と認定品を交付する。

#### (2) シニア・リーダー

シニア・リーダースクールを修了した団員に対しては、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、認定証と認定品を交付する。

### 4. 認定の期間

#### (1) ジュニア・リーダー

認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効とする。

#### (2) シニア・リーダー

認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効とする。ただし、日本スポーツ少年団指導者制度に定める要件を満たした場合、「スポーツ少年団認定員」へ資格移行する。

### 5. 認定資格の喪失

ジュニア・リーダー、シニア・リーダーが次の各項に該当するとき、その資格を失う。

(1) スポーツ少年団の組織から退いたとき。

(2) スポーツ少年団のリーダーとしてふさわしくない行為があったとき。

### 6. 制度の変更

本制度は、日本スポーツ少年団常任委員会の承認を得て変更することができる。

#### <附則>

昭和 53 年 2 月 28 日制定

昭和 59 年 1 月 26 日改訂

平成 2 年 4 月 1 日改訂

平成 7 年 4 月 1 日改訂

平成 18 年 4 月 1 日改訂

平成 22 年 4 月 1 日改訂

平成 22 年 4 月 14 日改訂

## 日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に定める活動単位

日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に記載の活動単位について、以下のように定める。

### 1. 活動単位数

- |   |       |
|---|-------|
| (1) 全国スポーツ少年大会参加  | 5 単位  |
| (2) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会参加  | 5 単位  |
| (3) ブロックスポーツ少年大会参加  | 5 単位  |
| (4) ブロックリーダー研究大会参加  | 5 単位  |
| (5) スポーツ少年大会（全国・ブロック・都道府県）および、競技別<br>交流大会（全国・ブロック・都道府県）への運営係員としての参加 | 5 単位  |
| (6) 市区町村リーダー会役員経験年数 1 年以上   | 5 単位  |
| (7) 都道府県リーダー会役員経験年数 1 年以上   | 10 単位 |
| (8) ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加                                       | 10 単位 |
| (9) 日独スポーツ少年団同時交流（派遣）へ団員として参加                                       | 10 単位 |

### 2. 単位取得条件

- (1) 当該事業終了時に単位を取得するものとする。
- (2) 同一項目であっても複数年度に渡り該当する場合は、それぞれの年度ごとに活動単位を認める。

### 3. 必要単位数

上記活動単位の内、10 単位以上取得した者に対し、シニア・リーダースクール参加資格を認める。

平成 22 年 4 月 1 日発行

<様式1>

平成26年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加申込書(推薦書)

推薦 順位	フリガナ 氏名	性別	年齢	シニア・リーダー認定番号	活動単位 ※
1	( )			07 J	
2				07 J	
3				07 J	
4				07 J	
5				07 J	

※ 活動単位については、  
該当者のみ記入してください。

男( )名・女( )名 計( )名

上記の者を平成26年度シニア・リーダースクール参加者として推薦し、申し込みいたします。

公益財団法人福島県体育協会  
福島県スポーツ少年団  
本部長 星 本文 様

平成 年 月 日  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
本部長 \_\_\_\_\_ 印

平成26年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加申込書  
(個人提出用)

都道府県	都・道・府・県			写真貼付  上半身正面脱帽 縦4cm×横3cm
(フリガナ) 氏名	(男・女)			
生年月日	西暦	年	月 日 生	
	2014年4月1日現在		満 歳	
(フリガナ) 現住所	〒 _____ ( _____ )			
	(電話番号 _____ ) (携帯番号 _____ )			
学校・勤務先	・( _____ ) 第( _____ ) 学年 在学中・卒業 ・( _____ ) に勤務中 学校部活動への加入状況 加入している場合 ( _____ ) 部・加入していない			
所属単位団	・( _____ ) 市・区・町・村 ( _____ ) スポーツ少年団 ・団登録番号 ( _____ ) ・主な活動種目 ( _____ ) ( _____ ) ( _____ )			
活動歴	・平成( _____ ) 年( _____ ) 月 スポーツ少年団に入団、団活動( _____ ) 年目 ・平成( _____ ) 年度ジュニア・リーダースクール修了/認定番号( _____ ) ※ジュニア・リーダー資格を保有していない場合は、必ず記入すること(10単位以上必要)			
	参加年度	参加事業名・役割	単位数	合計単位数
				単位
	・リーダー会での活動状況 ※活動している場合のみ記入すること 市区町村リーダー会 所属先( _____ ) 活動年数( _____ 年目) 役職( _____ ) 都道府県リーダー会 所属先( _____ ) 活動年数( _____ 年目) 役職( _____ ) ・日独同時交流派遣の参加有無 有・無 参加年度( _____ ) 年			
運動適性テスト	( _____ ) 級 : 参考【新体力テスト総合評価( _____ )】※A~E評価】 ※3級程度を有する者が望ましい			
スポーツ 趣味	好きなスポーツ( _____ ) 趣味 ( _____ )			
留意事項	※何か主催者側に知っておいてもらいたいことがあればご記入ください。(健康状態、運動時に特別な配慮が必要等)			
指導者推薦欄	※必ず指導者にあなたの推薦コメントを記入してもらうこと   (指導者名 _____ 所属 _____ )			

※参加者の個人情報(参加者への案内・資料の送付・参加者名簿作成・登録システムを目的に使用させていただきます。またこの個人情報は、本事業主催団体である公益財団法人日本体育協会及び都道府県体育協会が情報を共有し参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

都道府県名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

※自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること。

【課題①】今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明してください。また、そのリーダー活動を続ける上で抱えている問題について述べなさい。

●リーダー活動の具体的な内容


\*すべての行を埋めること

●抱えている問題


\*すべての行を埋めること

【課題②】シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、スクーリングに参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

●参加志望動機


\*すべての行を埋めること

●身に付けたい知識や技術。またそれを単位団やリーダー会活動で、どのような形で活かしていくか


\*すべての行を埋めること